

令和元年度 活動報告 「スタートアップ部門」

団体名 **桃山学区健康危機管理サポーター実行委員会**

団体概要 災害時には、難を逃れ、避難所に集まった人達を健康リスクから守るために、災害時対応の知識や経験を使い避難所運営者と協力して避難者の健康管理や衛生管理を行う。
日常的には、感染症対策や救急活動の意義を広報する。

活動名：指定避難所における健康・衛生管理活動

1 活動目標の達成度

活動目標としてきた、南海トラフ大地震等の災害への備えや避難所生活の健康衛生管理に関する広報や啓発の実施については勉強会や講演会の開催を通じてほぼやりきることができました。

今後は、伝えたい内容が十分に理解され、吸収し易いような内容や方法を考えて行くことにしています。



講演会（ウイルス）

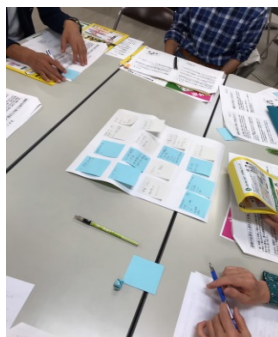


避難所開設訓練でのデモ

2 活動の成果

防災訓練や講演会等での啓発活動を通じて地域の皆さんに避難所での健康管理、感染予防の重要性を知ってもらうことができました。

ノロウイルス研修会の参加者アンケートにより感染症に対する理解や避難生活で必要とする物等についても把握することが出来、今後の活動の貴重なデータを得ることが出来ました。



研修会での話し合い



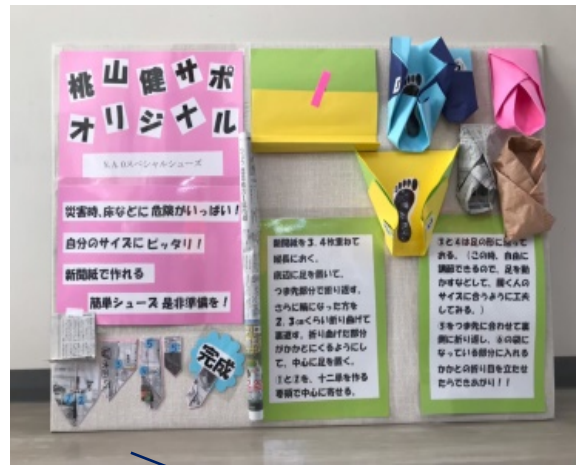
防災訓練での広報

3

目標達成のために努力したこと

地域の皆さんが災害時の避難生活に関する理解の状況や不安に感じておられる内容等を知るために研修会では参加者にアンケートをお願いしたところ、安全な避難生活を健康に過ごすための事前準備や対策・グッズ、想定リスク等に関心が高く、不安があることも分かってきました。

地域主催の行事（ロコモ予防体操や夏まつり）に積極的に参加して血圧測定デモやチラシの手渡しなど実践的な啓発活動により避難生活における健康管理の大切さを伝えました。



4

活動で得た学び

ロコモ予防体操での血圧測定

オリジナル広報グッズの展示

地域の皆さんの中には災害を遠い所のことの様に考えて、危機感を持っておられない人も多くおられたことから、今後の活動を進めるに際しては幅広く草の根的な啓発活動の必要性を感じています。

今年度の活動の中で避難生活を含めた防災活動は地域のみんなの協力がないと成立しないことを知り、今後は多くの人達や組織との連携を考えて行くことにしています。



一緒に活動する仲間達

